



Jul. 2025
Vol. 276

東京都中央区日本橋本町4-9-2 本栄ビル9階 <https://www.jfa-tanzo.jp>
TEL 03(5643)5321 FAX 03(3664)6470 e-mail: forging@jfa-tanzo.jp

一般社団法人日本鍛造協会
編集発行 広報委員会

第24回 国際鍛造会議参加者募集中！

URL: <https://ifc2025.com/>



EUROFORGE
IFC

24. INTERNATIONAL
FORGING CONGRESS 2025

- 開催日 2025年10月5日(日)～10日(金)
- 開催場所 ドイツ・フランクフルト 『Kap Europa』
- スケジュール

5日(日)	18:30～21:30	Welcome Reception
6日(月)	09:00～17:00	技術講演／展示会
7日(火)	09:00～17:00 18:30～22:30	技術講演／展示会 Farewell Dinner
8日(水)	工場見学(全5コース)	
9日(木)	①ドイツ西部	②ドイツ南部 ③イタリア
10日(金)	④ポーランド・チェコ	⑤トルコ



*プログラム詳細は上記URLをご覧ください。

■費用 (1€=168円で換算)

- (1) 会議登録料金(主催者側規定料金)
2日券 €895 (150,360円)
※工場見学に参加希望の方は、2日券が必要です。
＜登録料金に含まれるもの＞
 - ・展示会及び全体会議への入場
 - ・ワークショップへの入場
 - ・Welcome Reception (10/5)
 - ・Farewell Dinner (10/7)
- (2) 宿泊費(10月4日～8日の4泊・朝食付き)
1泊 €231 (38,800円) / 人×4泊
- (3) 工場見学参加費(主催者側規定料金)
各コース 1人 €1,750 (294,000円)
※見学コースによって追加料金が発生します。
- (4) 航空運賃(日本からの往復費用)
387,610～445,480円
- (5) その他費用
81,900円

参加募集案内の詳細は当協会HPをご覧ください。

https://www.jfa-tanzo.jp/news/24th_ifc/

委員会開催報告

■第18回人材育成企画立案特別委員会

開催日: 6月5日(木)13:30～
6月24日(火)13:30～

会場: Web開催

【議題】

1. 鍛造設備保全マイスター育成塾の第3巡目計画案について



Information

人事異動

正会員

株式会社セイタン

代表取締役社長 桑原英志氏

前代表取締役社長の川島俊也氏は顧問に就任

MANYO

ビレットシャー 30TON～1300TON

フォージグロール FR120～FR960

プレス 50TON～3000TON

アブセッター 200TON～2300TON

Tel 06-6458-0481



代表取締役 社長 朝日浩司 アサヒフォーシ株式会社	代表取締役 社長 太田達也 株式会社イチタン	代表取締役 取締役 山口基彦 インダクトサムグループジャパン株式会社	代表取締役 社長 浅田牧翁 岡田工業株式会社	代表取締役 取締役 岡本圭司 岡本鉄工株式会社	代表取締役 社長 角田邦夫 KAKUTAテックフォーシング株式会社
代表取締役 社長 林大輔 株式会社ゴーシユー	代表取締役 社長 吉川賢 株式会社コタニ	代表取締役 社長 阪口善樹 サムテック株式会社	代表取締役 社長 平山泰行 株式会社シンニツタン	代表取締役 社長 桑原英志 株式会社セイタン	代表取締役 取締役 田淵元悟 株式会社田中信鉄工所
代表取締役 取締役 高橋直之 タンレイ工業株式会社	代表取締役 社長 清水芳洋 東福鍛工株式会社 代表取締役 副社長 田中君枝	代表取締役 社長 川上喜八郎 東邦工機株式会社	代表取締役 社長 南條栄太郎 図南鍛工株式会社	代表取締役 取締役 中川陽一郎 中川特殊鋼株式会社	代表取締役 取締役 筒井健夫 浪速鍛工株式会社
代表取締役 社長 近藤規雄 万能工業株式会社	代表取締役 社長 齋木憲久 株式会社明治製作所	代表取締役 社長 友岡正明 株式会社メタルアート	代表取締役 社長 八木議廣 八木工業株式会社	代表取締役 社長 江山創一 理研鍛造株式会社	理事長 松本卓 東京鍛造工業協同組合

暑中お見舞い申し上げます

会長
新潟県鍛造工業会
加藤伸夫

理事長
近畿鍛工品事業協同組合
阪口善樹

会長
一般社団法人日本アルミニウム協会
石原美幸

会長
一般社団法人日本鍛造協会
角田邦夫



行政より

●「第6回未来を拓くパートナーシップ構築推進会議」を踏まえたパートナーシップ構築宣言ひな形改正について

本年2月21日に開催した「第6回未来を拓くパートナーシップ構築推進会議」においては、取引階層が深くなるにつれて、価格転嫁が低下する傾向があるという実態を踏まえ、直接の取引先だけでなく、2次以降の取引階層も視野に入れた対応が必要であることが議論されました。

これを踏まえ、重層的なサプライチェーンにおける価格転嫁が進むよう6月20日付けで、パートナーシップ構築宣言のひな形を改正いたしました。

まだ宣言されていない会員企業様へは、新しいひな形での宣言をご検討いただきますようお願いいたします。ひな形につきましては、パートナーシップ構築宣言のポータルサイトにてダウンロードすることができます。

■パートナーシップ構築宣言ポータルサイト

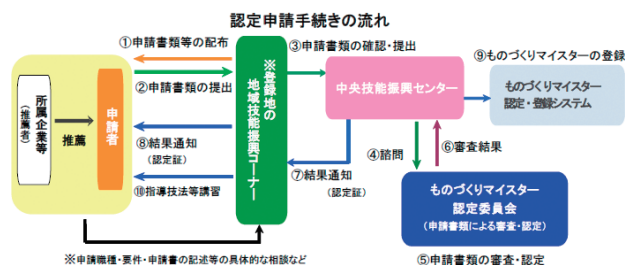
<https://www.biz-partnership.jp/>

●厚生労働省「ものづくりマイスター」認定申請のご案内

ものづくりマイスターとは、ものづくりなどの優れた技能、経験を有する方を厚生労働省「ものづくりマイスター」として認定・登録し、中小企業や学校などで若年者への実践的な実技指導や、効果的な技能の継承、後継者の育成を行っており、「若年技能者人材育成支援等事業」の一環で実施しています。

実技指導以外にも、ものづくり体験教室での指導など活躍の場は様々です。

*「鍛造」がものづくりマイスター認定職種のひとつになっています。



詳細は、<https://waza.mhlw.go.jp/monodukuri/>をご覧ください。

自由鍛造及びリング鍛造交流会開催

当協会では、自由鍛造及びリング鍛造の同業種間の交流を図るべく交流会を実施しています。諸事情により5年ぶりとなりましたが、去る6月19日(木)～20日(金)に開催し、8社10名の方が参加されました。

今回は、株式会社神戸製鋼所高砂製作所殿(兵庫県高砂市)、有限会社明珍本舗殿(兵庫県姫路市)の2社を訪問しました。明珍本舗殿では、火箸風鈴の素材違い



による音色の聞き比べや、実際に銅を打つという貴重な体験をさせていただきました。見学当日は6月にしては異例の暑さでしたが、明珍風鈴の涼やかな音色が暑さを和らげてくれました。



人材育成事業報告

◆令和7年度鍛造マネージャー育成塾コース

「科目3 鍛造用材料と熱処理」実施

去る6月12日(木)～13日(金)にじゅうろくプラザ及び岐阜大学(岐阜県岐阜市)において、「鍛造用材料と熱処理」をテーマに実施しました。本科目は全3回岐阜大学との産学連携講座のため、大学院生と一緒に受講しました。

1日目は、鍛造品で使用する各材料の特徴や金属組織、塑性変形や熱処理の基礎技術について座学講義を行いました。講義の最後には熱処理条件を決める演習を行い、講義で学んだ知識をアウトプットすることで知識の定着を図りました。

2日目は、実験実習として変形抵抗測定と割れ限界測定を行いました。プレス機や試験機を使用して諸条件のもと試験片を加工・記録し、それを基に関数電卓を使用してデータの整理を行いました。その後、記録したデータを基にグラフを作成し、試験片の変化を考察するグループディスカッションを行いました。



「科目4 加工力と面圧」実施

去る6月26日(木)～27日(金)に岐阜市文化センター及び岐阜大学(岐阜県岐阜市)において、「加工力と面圧」をテーマに実施しました。

1日目は、加工力と面圧の計算や応力と降伏条件、ひずみについて座学講義を行いました。随所に計算演習や考察を行う場面があり、演習を取り入れることで理解度を高める工夫が見られました。

2日目は、岐阜大学にてサーボプレスを用いた後方押し出し実験と、ビッカース硬さ試験を行いました。その後、記録したデータを整理し、荷重の計算と硬さ分布を考察するグループディスカッションを行いました。



◆令和7年度鍛造設備保全マイスター育成塾

一柱Ⅲ 第2回 実施

去る6月9日(月)～10日(火)、株式会社メタルアート(滋賀県草津市)にて、「センシング技術およびIoT、AIの適用」をテーマに第2回講座を実施しました。

1日目は、設備保全へのデジタル技術活用に関する講演と、2500トンプレスを含むIoT適用設備の工場見学を実施。見学後には、気づきや自社課題を踏まえたグループディスカッションを行い、理解を深めました。

2日目は、センサー技術を用いたデータの見える化に関する実習を通して、現場での活用手法を学習。その後、自社課題への応用をテーマに議論を行い、グループごとに発表・共有を行いました。

本講座を通じて、現場のDX化に向けた具体的な技術と活用の方向性を習得する機会となりました。



◆令和7年度 熱処理セミナー

「技術者に知ってほしい、現場の熱処理」実施

去る6月23日(月)、日本鍛造協会会議室において、「技術者に知ってほしい、現場の熱処理」をテーマに熱処理セミナーを実施しました(受講者数:9名)。

本セミナーでは、熱処理材料の特徴や各種処理(焼なまし・焼ならし・焼入れ・焼戻し・高周波焼入れ・表面処理など)について、図や写真を交えてわかりやすく解説を行いました。

参加者からは「今後もこのようなセミナーを開いてほしい」「熱処理の基礎から現場の応用までの流れで分かりやすかった」などの声が寄せられ、熱処理現場での理解促進と技術の定着に向けた有意義な機会となりました。

